

平成27年度 知事室長 運営目標

運営目標				達成区分		達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
1	職員の広報スキルを高め、広報センターの外部専門家ノウハウを取り入れることによって、課題を先取りした積極的な広報を行います。			◎	◎		
計画区分		行財政改革P	④府民ニーズに迅速・的確に応える府庁づくり				
達成手段 (数値目標)	①	広報課職員の一層のスキルアップと、ハブ機能を高めた戦略的広報を主体的に担う体制を構築し、安心・安全や少子化対策などの地域創生を軸に広報を展開していきます。 ・職員の広報スキル向上(各メディアへの売り込み) ・メディア懇談会の開催 ・市町村との広報相談の実施、地域・施策データ集の作成 ・PR専門会社による首都圏・阪神地域メディアのパブリシティ提供充実				・府職員及び市町村職員に対して研修会を開催 8回 ・メディア懇談会：平成28年2月23日実施、42社59名の参加(東京都) ・地域情報「ファクトブックシステム」完成、試行運用開始(◎) ・PR専門会社からの提供数208件(首都圏66件、関西圏142件)その内、メディア露出104件(首都圏49件、関西圏55件)(◎)	
2	「もうひとつの京都」を府内に浸透させ、地域の自主的な盛り上げに繋がります。			◎	◎		
計画区分		行財政改革P	④府民ニーズに迅速・的確に応える府庁づくり				
達成手段 (数値目標)	①	府内中学・高校の吹奏学部等による演奏や、歌手による歌を市町村との連携強化により、府内の隅々まで浸透させ、地域の自主的な盛り上げに繋げるとともに、全国的な知名度を上げます。 ・府内中学・高校吹奏楽部、市民楽団、府警音楽隊、海上自衛隊舞鶴音楽隊等による演奏				・KBSテレビ「もうひとつの京都」 お茶の京都をテーマに3月11日放送 ・吹奏楽演奏13回。今後の予定として、5月28日海上自衛隊舞鶴音楽隊による「京都祇園公演～もうひとつの京都～」にて演奏予定 ・府吹奏楽連盟加盟団体(中・高・一般)約230団体	

平成27年度 知事室長 運営目標

運営目標				達成区分		達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
3	ソーシャル・ネットワーク・サービスを活用して新たな世代に情報発信するなど、戦略的、重点的な広報により広報効果を最大化します。					△	
計画区分		行財政改革P	④府民ニーズに迅速・的確に応える府庁づくり				
達成手段 (数値目標)	①	各施策の動きを素早く把握し、記者発表に結びつけ、各種媒体を駆使した情報発信を強化します。 ・タレント・ブロガーと連動した拡散 ・特設サイト・Web広告やYouTubeを活用した広報					◎ ・タレント・ブロガーとの連動：浅田舞やふらりーさんなどによるfacebookとtwitter 131回 ・特設サイト「もうひとつの京都」により、動画再生回数 約8万5千回 ○SNS広報の分析 →FB含む新webメディア展開検討中。ファクトブック、地域メディアNTとも連動 ○地域メディアとのネットワーク メールによる情報提供、FBによる情報発信実施 13件の広報企画提案事業を実施
	②	Twitter、Facebookの特徴を生かし、若者、海外をターゲットに、「京都の観光・文化(和装、伝統産業品等)」や、防災情報などを発信します。 ＜Twitterのフォロワーを3万人、Facebookのいいね！を1万人(②⑥実績：Twitter 18,531人 Facebook 8,284いいね)＞					△ ・Twitterのフォロワー 25, 533人(82%) 【未達成の要因・理由】 Twitterにより、京都の観光・文化情報や防災情報の発信に努めたが、主たるユーザーと考えられる若年層に大きく浸透できなかったため ・Facebookのいいね 14, 805件(144%)
4	京都府広報監「まゆまろ」が府政の情報発信の一翼を担います。					△	
計画区分		行財政改革P	④府民ニーズに迅速・的確に応える府庁づくり				
達成手段 (数値目標)	①	アクティブに変身させた新しいまゆまろの魅力とともに、府政に関心の低い層や海外に向けても府政情報を届けます。 ＜Twitterのフォロワーを4万人、Facebookのいいね！を2万人、LINEの友だちを3万人(②⑥実績：Twitter 27,000人、Facebook 7,300人、LINE 14,700人)＞					△ ②⑦実績：Twitter 29, 143人(72. 9%) Facebook 7, 979いいね(39. 9%) LINE 15, 714人(52. 4%) 【未達成の要因・理由】 まゆまろを歌とダンスで強力なキャラクターへブラッシュアップする方向へシフトし始めたところであるため(新曲とダンスお披露目 3月26日(土))

平成27年度 知事室長 運営目標

運営目標				達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
5	府民ニーズを基に広報自主媒体や府政広報の質を高めます。			△		
計画区分		行財政改革P	④府民ニーズに迅速・的確に応える府庁づくり			
達成手段 (数値目標)	①	広報モニターアンケート等を実施し、府民の意見を反映して、「府民だより」をはじめテレビ・ラジオ、ホームページなど広報自主媒体を府民ニーズに対応したものにします。 ＜欲しい府政情報が欲しい時に入手出来る人の割合を90％(㊟実績：75.7％)＞			△	入手できている：76.5％ 【未達成の要因・理由】 各種の広報自主媒体により府政情報の発信に努めたところであるが、特に20代～30代といった若い層に対する効果的な府政情報の提供が弱かったため
	②	府施策の浸透度など調査を実施し、事業部局へフィードバックすることにより、事業内容や広報媒体選定を改善します。		◎	WEBでの認知度等調査　2回(100%) 広報モニターアンケート　12回(100%)	
6	災害時等における情報提供を確実かつ迅速に行うための体制を整えます。			◎		
計画区分		行財政改革P	④府民ニーズに迅速・的確に応える府庁づくり			
達成手段 (数値目標)	①	災害時を想定した訓練を報道機関と共同で行うとともに、広報課内で実践的な訓練を実施します。＜2回(㊟実績　2回)＞			◎	訓練の実施　2回(100%) 10月18日(日)の府総合防災訓練等に合わせて実施 3月11日(金)の府地震災害等対応訓練に合わせて実施
	②	放送要請等の協定を締結している全報道機関(14社)に公共情報コモンズ(※)への参加を呼びかけ、災害情報が迅速に共有できる体制を確立します。 ※災害時において、避難勧告や指示、被害状況、ライフラインの状況などきめ細かな情報をICTを活用して配信し、テレビ、ラジオ等のメディアを通じて、迅速かつ効率的に地域住民に情報提供するシステム。			◎	報道要請協定締結の報道機関　全14社が公共コモンズを導入し、自治体などが入力した災害情報を迅速に共有できる体制を確立。
	③	気象警報や健康被害が懸念される情報等を、府ホームページやSNS等で迅速に提供します。			◎	気象警報等の情報を府HPやツイッター等で迅速に情報発信 【4～3月】台風等気象情報11回、警報情報40回、避難勧告情報29回、土砂災害警戒情報13回、食中毒・光化学スモッグ注意報・インフルエンザ警報等の情報19回　など
	④	災害に対する知識や備えについて、府民だよりや府ホームページ、ラジオ等を通じて広報・啓発します。		◎	出水期をはじめとする災害が比較的多く発生する時期において、災害に対する知識や備えになるような啓発を各媒体で情報発信 府民だより　2回 KBSテレビ　2回 KBSラジオ　12回、FMラジオ　3回	

平成27年度 知事室長 運営目標

運営目標				達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)		
7	「知事と和い和いミーティング」を、府民との協働体験を交えながら、さらに活発な意見交換ができるスタイルで開催します。			○			
計画区分	行財政改革P	④府民ニーズに迅速・的確に応える府庁づくり					
達成手段 (数値目標)	①	府の地域創生に関する計画など、その時々に応じたテーマについてご意見を伺います。 ＜参加した人の満足度 90%＞			○	満足度:平均 82.4%(達成率91.6%)	
8	府民等と一層連携し、友好提携5州省をはじめ、新たな州省との交流や分野別交流の拡充など、海外との交流を積極的に進めます。また、府の国際化施策を横断的に調整するとともに、戦略的に海外へ京都の魅力を発信します。			△			
計画区分	中期計画	京都力の発揮	交流連帯				
達成手段 (数値目標)	①	部局横断的に京都府の国際化事業を効果的に推進します。				○	・部局横断的に国際交流事業を調整し、統一的、継続的な事業の推進を図るため、京都府国際化施策推進本部を9月3日設置
	②	フランス共和国ラングドック・ルシヨン州との間で、京都府として6番目となる友好提携の協定書を締結し、同州と人的交流や、経済・観光交流を実施します。 ・ラングドック・ルシヨン州において、両府州の交流に係る団体の活動を支援するサポーター組織(「日仏京都会」等)を設立。 ・両府州の高校間の提携や、府立医大とモンペリエ大学との提携、京都大学とラングドック・ルシヨン州の農業関連機関との交流等を支援し、交流のネットワークを拡大。				○	・6月10日、ラングドック・ルシヨン州と友好提携。高校交流や府立医大とモンペリエ大学、京都大学とラングドック・ルシヨン州の農業関連機関の交流を支援を実施。 ・サポーターについては、府国際センターを事務局とした組織化を準備中。
	③	インドネシア共和国ジョクジャカルタ特別区及び米国オクラホマ州との友好提携30周年を記念して、民間交流団体、関係市町村等と連携し、それぞれの地域との交流事業を実施します。				◎	・8月27～29日、ジョクジャカルタ特別区知事他訪問団入洛。両地域の伝統織物のコラボレーションを行う民間団体や、会場となった宮津、丹後地域の織物業界とも協働した織物の展示会や王宮舞踊、ガムラン音楽の演奏等文化交流事業を実施。 ・11月17～21日、京都府訪問団をオクラホマ州へ派遣。ジェトロと共同した経済セミナー等の交流事業を実施。
	④	友好提携先等との交流について、行政、大学、経済会、文化団体等と連携したプラットフォームで意見交換を図り、交流を進めます。 また、ウェブ会議(テレビ会議)の対象拡大により、交流事業の具体化を図っていきます。＜ウェブ会議対象地域:3地域(㊤実績 1地域)＞		△	・4月24日、ジョクジャカルタ特別区・京都府友好交流プラットフォーム会議実施 ・4月2日、6月2日、10月5日、11月13日、12月16日、2月26日ラングドックルシヨン州とのテレビ会議 【未達成の要因・理由】 電話・メール等で意見交換、交流ができ、友好提携先からもウェブ会議の求めがなかったため新たに友好提携を調整しているケベック州の在日事務所とのテレビ会議について、今後検討		

平成27年度 知事室長 運営目標

運営目標			達成区分		達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
⑤	カナダ・ケベック州と友好提携に向け、新たな分野(スマートシティ、高校交流等)における交流拡大を支援します。			◎	<学術交流> ・10月3日、ケベック州と京都のスマートシティ等持続可能な社会に関する研究者による交流ミーティング開催 <高校交流> ・3月21日、府立嵯峨野高校がロシュベル高校を訪問し、交流 <行政間交流> ・5/20,6/16,8/5,10/19,12/17に京都府とケベック州在日事務所との協議。 <議会間の交流> ・28/1/18ケベック州議会議長他が入洛、植田議長他表敬訪問、交流宣言書に署名
⑥	ベトナム社会主義共和国トゥア・ティエン・フエ省との親善交流と協力関係を築いていくための協定に基づき、観光協力(JICAのスキームを活用し、フエ省の行政関係者や宿泊業関係者を対象に研修を実施)や文化財保護等の分野において交流を具体化します。			△	・フエ省及びJICAとの調整を進めるとともに、ベトナムの現地事情に精通した有識者から情報収集等を実施。 【未達成の要因・理由】 当面取り組む交流分野の調整に時間を要し、事業実施には至らなかった。
⑦	府の交流先の在関西領事館等を定期的に訪問し、ネットワークを強化します。＜総領事館等の訪問:年間24回(㊟実績 18回)＞			△	・インドネシア総領事館等を訪問し、当該国との交流の支援を依頼(21回)。 【未達成の要因・理由】 新たな友好提携の締結や既存の友好提携の周年事業の実施のため、該当国関係機関との連絡調整に注力し、他国・地域機関まで行き届かなかった。

平成27年度 知事室長 運営目標

運営目標				達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
9	(公財)京都府国際センターを活用し、市町村の国際化支援や外国籍府民の安心・安全を支える取組、留学生支援を進めるとともに、今後のあり方を検討します。				
計画区分	計画区分	中期計画	地域共生の実現		
達成手段 (数値目標)	①	外国籍府民が参加する防災研修・防災訓練をはじめ、地域で暮らす外国人の日常的な生活支援の役割を担うボランティア等を支援する取組を府内市町村や国際化協会と連携して実施するなど、安心・安全を支える取組を進めます。 ＜防災研修10回、防災訓練5回(㉔実績 研修9回、訓練5回)＞		◎	・防災研修10回、防災訓練5回
	②	府内市町村、国際化協会やNPO団体と協働で、日本語指導や生活相談等ができるボランティアなど多文化共生推進のための人材育成を実施するとともに、府域の外国人住民相談会の開催や、多言語による生活情報等の発信を行います。 ＜計4回(㉔実績 北・中部会場で2回)＞		○	・府域相談会 計4回(国際センター3回、南部会場1回)
	③	来日間もない留学生や過疎地域に定住する外国籍府民等にも、十分な日本語教育機会が確保されるよう、スカイプ等を活用した日本語学習支援の方策を検討します。＜トライアルレッスン10回(㉔新規)＞		○ ◎	・通信状況の確認等のため、学習者も含めたトライアルレッスンを実施(3回) ・連続レッスンを実施(10回)
	④	「きょうと留学生ハウス」及び「きょうと留学生オリエンテーションセンター」の入居者や京都府名誉友好大使を対象とした、留学生等支援員等による出張生活・就職相談を実施し、留学生支援を進めます。＜計6回(㉔実績 4回)＞		△	・留学生等支援員による出張生活・就職相談(3回) 【未達成の要因・理由】 留学生等支援員との日程調整が整わなかったため
	⑤	Facebook等新しいメディアを活用し、情報共有を推進します。		○	・フェイスブックで、タイムリーに、センター事業・府内イベント、外国人向け、生活・防災情報等を写真と併せて紹介
10	未来の国際交流を担う青少年の国際理解教育を進めます。				
計画区分	中期計画	京都力の発揮	人づくり		
達成手段 (数値目標)	①	教育委員会と連携し、友好交流先等との学生交流(派遣・受入)を推進するとともに、外国の文化機関、大学等と連携し、留学フェアなどの取組を推進します。＜フェア参加者等交流人数:2,000人(㉔実績 1,459人)＞		○	・欧州留学フェア、府立高校生の学校交流などの参加者 1,816人

平成27年度 知事室長 運営目標

運営目標				達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
11	留学前、在学中、就職時にわたる一貫した取組により、留学生招致を推進し、当面、留学生数1万人を目指していくとともに、留学生が地域に溶け込み、「学びやすい、暮らしやすい」環境を整え、卒業後の就職につなげていきます。				
計画区分	中期計画	京都力の発揮	人づくり		
達成手段 (数値目標)	京都への留学を希望する外国人学生にワンストップで対応する総合相談窓口を創設するなど、オール京都で留学生支援の取組を実施します。 ①大学、行政、経済団体等のオール京都で立ち上げる「留学生スタディ京都ネットワーク」に、国内外からの京都留学に関する相談・問合せに一元的に対応する総合相談窓口を創設し、留学希望者への情報提供・相談・コーディネートを行います。 ②海外(5カ国9都市)で、京都留学の魅力をPRするとともに、現地の教育機関との関係を構築します。 ③外国人学生が京都への留学に至る過程(動機・留学ルート等)を明確化します。 ④京都企業と留学生をつなぎ、留学生の力を地域で活かす仕組みを創設します。(インターンシップによる就職支援、民間資産活用による住環境支援) ①【目標】 ①京都留学の相談・問合せ窓口の一元化(留学コーディネータの配置)、オール京都によるポータルサイトの創設 ②海外の「日本留学フェア」にオール京都のブースを出展し、京都留学情報を発信 ・フェアの京都ブースで、帰国した名誉友好大使が京都留学体験をフェイス・トゥ・フェイスでPR ・フェア開催都市の教育機関等へのアプローチ ③留学生、大学、日本語学校、海外(「日本留学フェア」開催都市)の教育機関等への実態調査 ④留学生向けインターンシップの開発 ・「きょうと留学生オリエンテーションセンター」の運営ノウハウを民間企業の社員寮や民間遊休資産で活用されるよう働きかけ			○	・総合相談窓口…5月29日開設済み ・ポータルサイト…10月28日開設済み ・日本留学フェアへのオール京都ブース出展 …5カ国8都市で開催済み ・フェアの京都ブースでPRした名誉友好大使 …7名が実施 ・大学、日本語学校等実態調査…53回 海外教育機関実態調査…33カ所 ・就職支援WG(インターンシップ事業検討)…3回 ・住環境支援WG(住宅情報提供事業検討)…3回
	府内各地域や留学生寮等を拠点として、府民との交流事業を実施することにより、学生同士、地域住民との交流を深め、留学生の京都への定着の促進と、更なる受入拡大を図ります。 ② また、府、留学生寮の現入寮者及びオリエンターとOB・OGが情報共有を図ることが可能なネットワークを構築するため、SNSサイトを立ち上げます。 ＜日本人学生や地域住民が参加した交流事業 参加者数1,100人(②実績 1,006人)、3棟合同実施交流会1回(②新規)、企業セミナー等5回(②新規)＞			○	・体験ツアー等の参加者数14回:延べ256人参加 ・留学生ハウス 地域との交流 247名参加 ・さつき寮 地域との交流 308名参加 ・みずき寮 地域との交流 257名参加 ・SNSサイトについては立上げ済み。 ・3棟合同交流会 1回 ・企業セミナー2回 ・留学生体育祭 300名参加 ・クッキングワールドカップ 100名参加
	京都府名誉友好大使やオリエンテーションセンターのオリエンター等が英語や留学生の母国語で京都留学情報を作成し、国地域や言語の種類を増やしながら、SNS等により強力に海外への情報発信を行うとともに、(帰国した)京都府名誉友好大使が、日本留学フェアの京都ブースで、また、京都で学ぶ現役留学生のPRチームとして、京都留学情報のPRを行います。 ＜アクセス数 30,000(累計)(②実績 18,380)、京都ブースへの参加大使 5人(②新規)＞			○	・アクセス数:25,633(累計) ・京都ブースへの参加大使:7名 ・現役留学生PRチームへの参加大使…2人

平成27年度 知事室長 運営目標

運営目標		達成区分		達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
達成手段 (数値目標)	④		○	・北・中部:27事業 ・南部:27事業 ・京都市内:85事業 ・海外:5事業 (計:144事業) うち、市町村トライアル派遣事業 12市町10事業
	⑤		△	・サポーターのネットワーク構築 (留学生ハウスは、企業関係者によるハウスサポーターネットワーク、さつき寮は、主に新町小学校の学童保育の保護者や地域住民が、みずき寮は地域の高齢者の支援員等の団体がサポーターとなりつつある) ・ホームビジット・ホームステイ 計6回実施 さつき寮:3回 みずき寮:3回 【未達成の要因・理由】 地域の行事に参加し、地域住民と顔なじみになることに時間を要したため。現在、受入家庭の開拓を進めているところであり、順次マッチングを行う予定である。
	⑥		○	・留学生と企業との交流会 11回 ・留学生及び企業向け研修 7回 ・相談利用延べ人数 3,133人 ・就職者数 209人

平成27年度 知事室長 運営目標

運営目標				達成区分		達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
12 京都迎賓館を活用した京都府の魅力発信を積極的に進めます。						
計画区分	中期計画	京都力の発揮	交流連帯			
達成手段 (数値目標)	①	外務省と連携し、各国在京大使や在関西総領事などの駐日外交団に日頃から積極的に足を運び、京都迎賓館等の視察や京都文化の体験交流等、更なる京都の発信を通じて京都への理解を深めてもらい、海外賓客の京都訪問につなげます。(在関西総領事招聘事業、府の友好交流先の受入等) ・また、関係団体と連携し、京都迎賓館の一般参観(13,000人)に際してリーフレットの配布を行うなど、一層の京都府の魅力発信を図ります。 ＜府(地元)主催行事での京都迎賓館利用 2回(㊟実績 利用なし)＞		△	△	・府(地元)主催行事での京都迎賓館利用なし 【未達成の理由】 友好提携州省からの入洛がなく、京都迎賓館の活用機会がなかったため。また、開催総領事招聘事業については、行事を予定していた時期に海外賓客の入洛が重なり、実施できなくなったため。 【参考実績】 ・外務省大阪分室や各国総領事館への訪問:21回 ・京都迎賓館の一般参観者へのリーフレット配布 平成27年8月2日(日)～8月11日(火) 10,860人 ・「京都迎賓館シンポジウム」((公財)京都文化交流コンベンションビューロー事業) 平成27年5月24日(日) 13:30～16:00 開催地:「イイノホール」(東京 霞ヶ関) 参加者:約450名 ・国公賓等の入洛に伴う地元歓迎行事の実施:4回 →ミャンマー連邦共和国大統領地元主催夕食会(7/5) →スリランカ首相地元主催昼食会(10/4) →フィンランド大統領夫妻地元主催夕食会(3/8) →ジンバブエ大統領夫妻地元主催夕食会(3/30) ※イタリア共和国首相夫妻地元主催昼食会(8/5) は一般参観期間中であつたため 迎賓館外(竹茂楼)で開催

目標達成状況(達成区分)		件数	割合
目標達成「◎」	(達成手段のすべてが◎)	3	25%
概ね達成「○」	(達成手段の◎○が2/3以上)	4	33%
未達成「△」	(達成手段の◎○が2/3未満)	5	42%
計(運営目標数)		12	

【達成手段(数値目標)の達成区分】
「◎」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上)
「○」…概ね達成(達成率90%～100%未満)
「△」…未達成(達成率90%未満)